



「令和4年度 広島市民賞」を受賞しました！

理事長 山本恵由美

広島市民に夢と希望と安らぎを与え、元気な広島、住みよい広島をつくるために寄与した個人、団体に贈られる『広島市民賞』に選ばれました。

2002年から始まる受賞者を調べてみると、サンフレッチェ、広島東洋カープや鈴木誠也選手など著名選手ほか、様々な分野で活躍される錚々たる方々が名を連ね、今回もワールドカップ日本代表の森保一監督のほか、広島交響楽団の音楽総監督で指揮者の下野竜也さんなどと肩を並べるとは、事の重大さにびっくり仰天！！

市長公室にて開催された授賞式には、会の発足から尽力された前理事長の見勢井顧問も同行をお願いしました。市長初め副市長や関係局の部長、区長の列席で、張り詰めた緊張感が半端ない雰囲気の中、表彰状の授与の後で活動概要や苦労や展望をスピーチし、倶楽部の存在感を示す責任はなんとか果たせたと思います。多くの方々からお祝いの言葉を頂戴し、反響の大きさは想定を超えています。名誉ある賞を誇りに、また新しいステージへと成長できればと願っています。『Viva！もりメイト倶楽部Hiroshima！』



受賞のニュースは、NHK のニュースや新聞で報道され、たくさんの方々から「おめでとう」のお言葉を頂戴いたしました。写真中央：山本理事長

5年前の2018年に広島県が実施している「ひろしま県民活動表彰」において、知事賞を受賞したことも、この場で改めてご紹介いたします。

この賞は行政、学識経験者や企業、NPOで構成される実行委員会が、事前にNPO・企業・学校の各分野から選考し、まず3団体を表彰。その団体は、活動内容のプレゼンテーションを行い、会場の参加者（審査委員含む）の投票により知事賞を1団体決定し、知事から表彰状を授与されるというもの。



山本理事長を囲んで ~2018年3月15日~

私はヘルメットと地下足袋で登壇し、森でのみなさんの活躍ぶりを熱弁！作業姿で会場を沸かせたものの、企業も学校も動員をかけて賛同者を多く得る中で、倶楽部員の応援は平日にて6名だけ。投票には不利な状況下、ふたを開けると第1位。知事賞の受賞となり、同席メンバーと喜び合ったことは今でも鮮明です。

～広島県知事賞～ 自主的な社会貢献活動（非営利活動）を展開し、社会的課題の解決に特に顕著な功績があった団体を表彰することにより、団体の活動の活性化を図るとともに、県民の社会貢献活動への理解と信頼の向上を図ることを目的としている。